

2026年度入学者選抜
大学院看護学研究科 看護学専攻
修士課程 【I期】

小論文 90分

(9:30 ~ 11:00)

注意事項

- 1 受験票は、机に貼ってあるラベルにはさみ、許可されたもの以外は、机の上に置かないこと。なお、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電源は切ること。
- 2 開始の合図があるまで、試験問題、解答用紙及び下書き用紙に手をつけないこと。
- 3 開始の合図があったら、最初に試験問題及び解答用紙に落丁や印刷の不鮮明なところがないかどうか調べ、もしあれば申し出ること。
落丁等がなければ、直ちに解答用紙の指定した欄に、「受験番号」、「氏名」を記入すること。
- 4 試験問題は1ページである。試験問題の余白は、下書き・メモに使用してよい。
- 5 解答は、解答用紙の指定された解答欄に黒色の鉛筆又はシャープペンシルで記入すること。
- 6 解答用紙には、所定の欄以外の場所に、何も書かないこと。
- 7 途中退場は許可しない。
- 8 試験問題について不明な点がある場合は、静かに手を挙げること。ただし内容に関する質問には応じない。
- 9 気分の悪くなった時や、トイレに行きたい時などは手を挙げること。
- 10 不正行為があると認められた場合は、直ちに退場させる。
- 11 終了の合図があったら、解答用紙、試験問題及び下書き用紙は、表を上にして机の端に置き、試験監督者の指示を待つこと。

小論文

問

近年、コンピューターをはじめとする情報通信技術（以下、ICT）は目覚ましく進化しており、保健医療福祉分野においても、活用の可能性が広がっています。

- (1) あなたの看護実践の場で ICT を活用するとしたら、どのように活用するのが望ましいか、活用例を具体的に 2 つ挙げて説明してください。(800 字以内)

- (2) ICT がさらに進んだとしても、置き換えることのできない看護の専門性はあるか否か、またあなたがそのように考える理由について、具体例を 2 つ挙げて述べてください。(800 字以内)